【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年６月22日
【会社名】	株式会社ディーバ
【英訳名】	DIVA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　森川 徹治
【本店の所在の場所】	東京都港区港南二丁目15番２号
【電話番号】	(03) 5782－8600（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務担当 春日 尚義
【最寄りの連絡場所】	東京都港区港南二丁目15番２号
【電話番号】	(03) 5782－7600（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務担当 春日 尚義
【縦覧に供する場所】	株式会社大坂証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目８番16号）

１【提出理由】

当社は、平成24年６月22日開催の取締役会において、平成24年10月１日を予定日として会社分割の方式により株式会社ジールの情報システム事業を承継すること及び平成24年７月中旬を目処に本件分割の分割承継会社として当社100%出資の子会社（以下、分割準備会社という。）を設立することを決議致しました。これに伴い、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第15号の規定に基づき本報告書を提出するものであります。

２【報告内容】

(1) 吸収分割の相手会社に関する事項

① 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社ジール
本店の所在地	東京都港区芝浦二丁目13番7号
代表者の氏名	代表取締役社長 山本 秀典
資本金の額	10,000千円
純資産の額	645,024千円
総資産の額	1,707,461千円
事業の内容	情報システムの設計・ソフトウェアの開発・販売及びその関連事業

② 最近３事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

（単位：千円）

	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
売 上 高	2,336,034	2,416,182	2,588,596
営業利益	87,534	82,666	159,851
経常利益	72,804	75,813	147,108
当期純利益	70,131	42,613	83,929

③ 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

山本 秀典　84.0%
中野 雅庸　10.0% ほか３名

④ 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	該当事項ありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。

(2) 吸収分割の目的

当社グループは「経営情報の大衆化を通して企業社会の発展に貢献する」ことをミッションに掲げ、お客様の事業活動における意志決定品質の向上に役立つソリューションの提供を目指し活動しております。

平成９年の創業以来、上記ミッションの具現化を目指して、企業グループの実態を適切に把握し、かつ投資家を含む様々なステークホルダーの意志決定に役立つ、連結会計システムという情報システムソリューションの開発、導入並びにその運用ソリューションを提供することに特化してまいりました。その結果、今日までに700社を超えるお客様に当社のソリューションをご利用いただくに至りました。

この内、多くのお客様が法令遵守や決算早期化を目指されて当社グループの連結会計システムを利用されていますが、グローバル化に代表されるお客様を取り巻く昨今の事業環境の変化に応じて、連結会計システムへのニーズもグループガバナンスや経営管理における意思決定にも役立つことが強く求められるようになっています。

具体的には、従来の連結会計システムという枠組みを超え、原価や販売の管理などの基幹業務システムと連携を図ることや、グループ会計情報の連結に留まらず、予算編成・業績管理などを一気通貫で行えることが重要になってきており、これらのニーズを満たすため、自社製品のみならず、様々な他社製品も組み合わせたソリューションを提供する能力を持つことが不可欠となっています。

このような背景のもと、20年にわたり情報システム分野におけるビジネスインテリジェンスという意志決定を支援する情報活用の業務領域への特化を通じて、当該業務における卓越した知見と経験を有し、更に特定の製品への縛りがないことで、お客様にとり常に最善のソリューションを選択・提供してきた株式会社ジールの事業のほぼ全部を新会社に承継させることにより、その強みを維持したまま当社グループに迎えることは、今後、より一層高度化及び多様化して行くお客様のニーズに、機敏にかつ柔軟に応え、当該領域のトップベンダーを目指して行く上で、極めて重要な戦略であると判断し、本件、事業承継を実行することといたしました。

(3) 吸収分割の方法、吸収分割会社となる会社に割り当てられる吸収分割承継会社となる会社の株式の数及びその他の吸収分割契約の内容

① 吸収分割の方法

吸収分割の方式により、分割準備会社に対し、株式会社ジールの情報システム事業を承継させる予定です。

② 吸収分割会社となる会社に割り当てられる吸収分割承継会社となる会社の株式の数

本件吸収分割に際し、分割準備会社は株式会社ジールへ本事業の権利義務を承継する対価として540百万円並びに承継する事業に関する資産及び負債の精算額の金銭を交付する予定です。

③ 吸収分割の日程

分割基本合意承認取締役会	平成24年6月22日（金）
分割基本合意書締結	平成24年6月22日（金）
分割準備会社の設立	平成24年７月中旬（予定）
吸収分割契約承認決議取締役会	平成24年７月中旬（予定）
吸収分割契約締結	平成24年７月中旬（予定）
吸収分割契約承認株主総会	平成24年８月上旬（予定）
吸収分割の効力発生日	平成24年10月１日（月）（予定）

④ その他の吸収分割契約の内容
未定であります。

(4) 吸収分割に係る割当ての内容の算定根拠
本件吸収分割の対価の算定にあたって公平性及び妥当性を確保するための手続きとして、当社は株式会社ストライクを独立した第三者算定期間として選定し、株式会社ジールの企業価値の算定を依頼し、割引キャッシュフロー法による算定結果を基礎として類似会社比較法による検証を加えた企業価値の評価結果を参考に、株式会社ジールの財務の状況、事業の状況等を総合的に調査・検討し、当社及び株式会社ジールとの間で慎重に協議・交渉を重ねた結果、当該吸収分割を実施するにあたり、承継する資産・負債、営業権を加味し、その対価として540百万円及び精査日における承継資産・負債の精算金額を金銭で交付することといたしました。

(5) 吸収分割の後の吸収分割承継会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	未定
本店の所在地	未定
代表者の氏名	未定
資本金の額	未定
純資産の額	未定
総資産の額	未定
事業の内容	情報システムの設計・ソフトウェアの開発・販売及びその関連事業

(注) 分割準備会社（承継会社）におきましては、今後設立予定であり最終事業年度はありません。

なお、本報告書記載の未定事項につきましては、決定があり次第、本報告書の訂正報告書を提出いたします。

以 上